

NANO

浸透性シラン・シロキサン系超撥水材

ナノスーパーWR 建築用

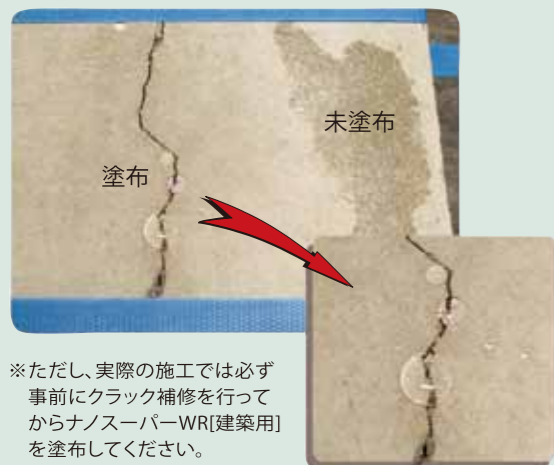
超撥水性力がコンクリートやタイルの目地を強固に守る。

ナノスーパーWR建築用はナノ粒子のシラン・シロキサンを主成分とした高機能な超撥水材です。塗布後素早く浸透して、コンクリートやモルタルの表層に超撥水層を形成します。同時に、内部に深く浸透して空隙を充填し、緻密な吸水防止層を形成します。耐候性にも優れ、長期間に渡って塗布面を保護します。

ナノスーパーWR [建築用] の主な特性

超撥水力

ナノスーパーWR[建築用]の超撥水力。クラックに沿ってナノスーパーWR[建築用]を塗布し、その撥水力をテスト。



※ただし、実際の施工では必ず事前にクラック補修を行ってからナノスーパーWR[建築用]を塗布してください。

白華(エフロ)防止

モルタル目地からの漏水は、白華(エフロ)発生の原因となり、外観を損なうだけではありません。目地や下地コンクリートの成分が流出し、外部から水や劣化原因物質が侵入しやすくなり、さらなる白華現象の呼び水となります。



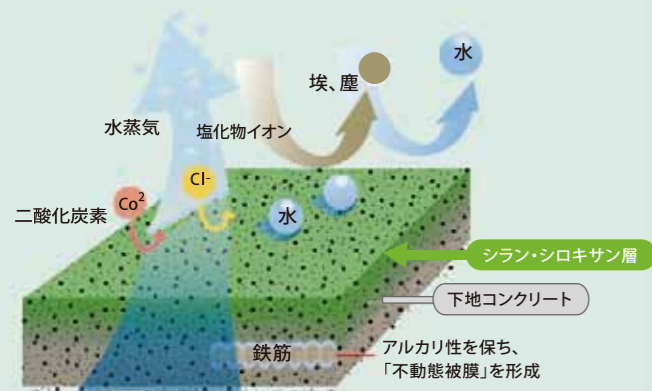
タイルの接着面の脆弱化が進行するとタイルの剥離・剥落の原因ともなります。また、クラックや漏水の発生・拡大など構造物自体の強度低下にもつながるおそれがあります。

将来のエフロ予防だけでなく、すでにエフロが発生している箇所も、ナノスーパーWR[建築用]を塗布するだけで、エフロ再発を抑制できます。



※既存のエフロについてはナノスーパーWR[建築用]を施工する前に除去が必要です。

塩害、中性化抑制、防錆



ナノスーパーWR[建築用]はコンクリートの内部に深く浸透し、劣化原因物質の侵入を強固に阻止。水や塵埃だけでなく、中性化の原因となる二酸化炭素と、内部鉄筋の腐食の原因となる塩化物イオンもシャットアウト。

※ナノスーパーWR[建築用]は無色透明です。上記の図中の色はイメージです。

防カビ・防汚

黒カビや雨垂れで黒ずんでしまったコンクリート面やタイル面も、ナノスーパーWR[建築用]が強固に守り、建物の美しさと強さを保ちます。



6ヶ月経過後の写真(右塗布・左未塗布)

凍害

ナノスーパーWR[建築用]は氷点下20℃までの温度環境でも施工可能です。凍結融解や融雪剤など、コンクリートにとって厳しい環境でも優れた効果を発揮します。

北海道屋上駐車場コンクリート床
6年経過後の写真(赤枠内のみの試験施工)



ナノスーパーWRの施工手順

準備

新築の場合は、初期強度発現後(コンクリート打設後28日目以降)にナノスーパーWR[建築用]を塗布してください。初期強度発現前に塗布すると、成分が表層部分で白く結晶化するおそれがあります。温度を確認(-20℃以上60℃以下)してください。

養生

ガラス、アルミ、化粧タイル、樋、手摺、自動車など。※ガラス部分に付着すると、曇りが生じる場合があります。また、金属部分に液剤が付着すると変色するおそれがありますのでご注意ください。

下処理

大きなクラック(0.2mm以上)やジャンカ等の補修を行ってください。

清掃、洗浄

高圧洗浄機及びブラシ等で施工面のカビや苔などの汚れを落としてください。
※酸性の洗浄剤を使用した場合は、必ずアルカリ洗浄剤を使用し中和処理を行ってください。

塗布

ローラー、刷毛、噴霧器などを用いてナノスーパーWR[建築用]を均一に塗布します。飽和状態となるまでしっかりと塗布してください。2回塗りの際は、1回目の塗布完了後、塗布面が乾燥してから行ってください。

ナノスーパーWRの標準使用量

塗布対象	平米あたりの標準塗布量		塗布回数
コンクリート全般・吸水性タイル	5~8㎡/ℓ	150~200cc/㎡	2回
磁器タイル目地	10~15㎡/ℓ	80~100cc/㎡	2回

※上記の使用量はあくまでも目安です。施工実施前に試験施工を行い、必要な使用量をご確認ください。
※タイル面に塗布する際は材質によって使用量が異なるため、事前に弊社または代理店までお問い合わせください。

ナノスーパーWRの注意事項

施工前の注意点

- 酸性の洗剤を使用した場合は、ナノスーパーWR[建築用]を塗布する前に必ず中和処理を行ってください。
- コンクリートの表面に剥離剤やクリアー等が付着している場合は、噴霧器の使用を避け、必ずローラーか刷毛を使用してください。(フッ素系クリアーの場合はサンダーにて除去してください)
- 屋外での施工時には、降雨(雪)時や、施工直後に降雨(雪)が予想される場合を避けてください。
- コンクリートの状態によって必要な塗布量が異なります。必ず事前に試験施工を行い、飽和状態(ナノスーパーWR[建築用]が浸透する上限量)を確認してください。
- 乾燥時は素地や構造物の状態により異なります。
- 噴霧器を屋外で使用する際は、液剤が飛散する恐れがありますのでご注意ください。また金属やガラス部分に付着しないよう養生を行なってください。
- 材質により変色のおそれがあります。必ず試し塗りをしてからお使いください。
- 水養生は不要です。

使用時の注意点

- 使用可能な環境は-20℃~+60℃です。
- 使用前に容器をよく振ってください。

施工時・保管上の注意点

- 施工時は換気に十分に注意してください。
- 施工時には保護眼鏡や防護マスク、作業用手袋を着用してください。
- 火気および高温物質のある場所で使用したり保管しないでください。
- 使用後は蓋をしっかりと閉め、温度変化の少ない暗所保管してください。0℃以下の場所には保管しないでください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 皮膚等に付着した場合は、直ちに石鹸等を用いて洗い流してください。

※その他の詳細については安全データシート(MSDS)をご覧ください。